

ココロ、トキメク、ヨツカイチ

広
報

よっかいち

YOKKAICHI CITY PUBLICITY PAPERS

2025

10

October

特集

それ、古いかも!?
あなたの認知症観をアップデート

認知症の啓発缶バッチを製作する
認知症当事者 北原さん

- 02 【特集】 それ、古いかも!? あなたの認知症観をアップデート
06 四日市の市へ行こう!
08 住民票などの発行はコンビニで!
09 四日市市・天津市友好都市提携45周年

- 10 きらり四日市人 四日市農芸高校 ダンス部
11 人権のひろば / 市長の全力取材!
12 そらんばへ行こう / 文化財さんば

／ それ、古いかも!? ／ あなたの「認知症観」を アップデート

皆さんは「認知症」に対してどのようなイメージを持っていますか。

「認知症になると今までできていたことが何もできなくなる」というイメージを持っている人は少なくないと思いますが、認知症になっても自分らしく生活をしている人はたくさんいます。

あなたの認知症に対するイメージをアップデートしてみましょう。

認知症フレンドリーな四日市市を目指して

65歳以上の約5人に1人が認知症になるといわれ、認知症は多くの人にとって身近なものになっています。本市では、認知症があっても、なくても、誰もが暮らしやすい「認知症フレンドリーなまち」の実現に向けて、「オールよっかいち」で取り組むことを宣言しています。

四日市市認知症フレンドリー宣言

1. 認知症に関する正しい知識や理解を深め、認知症の人や家族の想いに寄り添った行動ができる応援者を増やします。
2. 認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域の団体や企業などと連携し、みんなで見守り支え合える地域社会を目指します。
3. 認知症になっても、これまで積み重ねてきた経験などを活かしながら、役割と生きがいを持って、自分らしく暮らせるまちづくりを進めます。

令和4年8月23日 四日市市長 森 智広

新しい認知症観って何？

「新しい認知症観」とは、「認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になっても、一人ひとりが個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間などつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」という考え方のことです。

昨年、国は「認知症施策推進基本計画」を策定しました。この計画には、「**認知症は誰もがなり得る**」と明記されており、認知症当事者の声を尊重し、「新しい認知症観」に基づいて施策を推進していくことが示されています。

認知症を自分事と捉え、認知症当事者を含む誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまちを、みんなでつくっていきましょう。

古い認知症観

- 他人事 / なりたくない / 先送り
- 認知症だと何も分からない
- おかしな言動で周りが困る
- 地域で暮らすのは難しい
- 認知症は恥ずかしい / 隠す

新しい認知症観

- 自分事 / お互いさま / 向き合う / 備える
- 分かること、できることがたくさんある
- 本人が一番困っている / 本人なりの意味がある
- 地域の一員として暮らし、活躍できる
- 認知症でも自分は自分 / 自然体でオープンに

趣味の卓球を
続けています!

新しい目標に
向けて
料理の練習中!

新しい認知症観に基づく活動 チームオレンジ

四日市市版チームオレンジ 「ステップオレンジ」

チームオレンジは、認知症当事者とその家族の応援者である認知症サポーターらが中心となり、認知症当事者や家族の、やりたいことや助けてもらいたいことを、できる範囲でお手伝いする仕組みです。

四日市市版チームオレンジである「ステップオレンジ」は、介護保険サービスなどに該当しない認知症当事者の、得意なことややりたいことなどを、認知症フレンズ（認知症サポーターから一歩踏み出し、支援に関わるボランティア）と一緒に楽しみながら活動をしています。現在は五つの班の活動を地域に発信することで認知症に関する理解を広め、誰もが暮らしやすい認知症フレンドリーなまちを目指しています。

ステップオレンジの活動



ステップオレンジの一員として、一緒に活動をしていただける当事者を募集しています。
あなたの得意なことや、やりたいことを認知症フレンズと一緒に楽しみませんか？

「ステップオレンジ」の活動に興味がある人や
認知症に関する相談は

四日市市介護予防等拠点施設

ステップ四日市へ

所 日永東一丁目 2-27

☎ 348-4008



次のページでは「ステップオレンジ」の活動を紹介します

ステップオレンジの活動

園芸・畑班

園芸の得意な認知症当事者と認知症フレンズが、ステップ四日市の敷地内の畑を管理しています。土を耕すところからはじめ、畝をつくり、季節に応じた野菜や花を育てています。大切に育てた野菜は、自分たちで調理して食べるなど、みんなで楽しみながら活動をしています。

また、認知症に対する理解と関心を高めるために、畑で育てた花を寄せ植えにして民間企業や店舗、施設などへ直接手渡し、活動の内容を伝えています。



活動に関わった人のお話を聞きました！

園芸・畑班は、認知症当事者も含めたメンバーが役割分担をして、それぞれができることをしています。認知症の当事者が主体となって、楽しみながら一緒に活動をしているので、お手伝いをしているという感覚はありません。

認知症にマイナスなイメージを持っていたが、活動への参加を通して、認知症になってもできることがたくさんあることを学びました。

今後は自分の住んでいる地域でもステップ四日市の周知や活動紹介を行い、活動の輪を広げていきたいと考えています。



認知症に関心があり、活動に参加するようになった
仁保さん

以前は認知症について詳しく知らない社員が多かったんですが、会社が活動に携わったことがきっかけで社員の意識が変化し、今では関心を持ち自分で調べる社員もいます。

すてきな取り組みなので、会社として喜んで協力しています。活動を通して、地域貢献をしていきたいと考えており、今後もできる範囲で協力していきたいと思っています。

民間企業が発信するからこそ届く層があると考えており、「どうして車屋に認知症のポスターが？」という違和感が関心につながることを期待して、店頭でポスターの掲示などしています。

園芸・畑班が製作した門松を受け取った
三重トヨペット株式会社
四日市新正店
店長 水野さん



認知症サポーター養成講座班

学校や図書館、企業などで、認知症当事者と認知症フレンズが認知症サポーター養成講座を開催しています。認知症になっても、前向きに暮らしている人がたくさんいることや、認知症の知識を持ち、少しの工夫や気遣いで、認知症当事者や家族を支援できることを受講者に伝えています。



養成講座に参加した人のお話を聞きました！

家族が認知症になったら、特に親だと強く言ってしまうこともあると思います。こちらが怒ってしまうと怒り返されるし、優しく接すればその分穏やかになるということを今回の講座を通して改めて学びました。

認知症という言葉聞いたことがあったけど、よく知らないから講座に行ってみたいと思いました。家の近くに認知症のおばあちゃんが住んでいるけど、今日の話を聞いて、困っていたら助けたいと思いました。



認知症キッズサポーター養成講座のチラシを見て参加した眞野さん親子

自分が認知症と診断を受けるまで、認知症について全く知識がなかったです。自治体だけでなく、多くの地域住民やボランティアの人たちが協力し、認知症に関わる取り組みや活動をしていることを初めて知ったときは驚きました。

ステップオレンジの活動を通して認知症に対する自分の考え方も大きく変化しました。人前で話をするのはあまり得意ではないですが、さまざまな人が動いてくれて、自分のささやかな経験をみんなの前で発表できることはありがたいです。



認知症当事者として登壇したステップオレンジのメンバー
北原さん

他にもこんな活動をしています

図書・読書班



本が好きな認知症当事者や認知症フレンズが選んだお薦めの認知症関連図書を地域へ発信しています。

ロバ作り・クラフト班



認知症啓発グッズを作成し、地域のイベントで配布しています。

認知症カフェ班



地域の認知症カフェが、認知症当事者の安心できる場となるように話し合ったり、活動したりしています。

四日市の市へ行こう！

室町時代に、毎月4のつく日に「市」が開かれたことが、「四日市」の名の由来といわれています。現在、本市には魅力あふれる七つの「市」があります。生産者との触れ合いが楽しめる本市の「市」では、旬の野菜や果物、お餅にお菓子、手作りの総菜や漬物、生花に、新鮮な魚介までそろいます。地元の人の温かさやそこにしかないものを求めて、「市」に出掛けてみませんか。



どの「市」も最寄りのバス停などから徒歩数分の場所にあります。ぜひお立ち寄りください。

市ホームページ▶



富洲原四・九の市

代表 かりや ひさよし 飯屋尚義さん

所 イオンモール四日市北すぐ
日 4・9の付く日 時 7:30～11:00 ごろ

昭和29年に開設し、道路上で実施している青空市で、朝市らしい地元に着した定期市です。毎月29日は、富洲原地区の店が集まったマルシェ「29マーケット」も行われています。全力で頑張っていますのでぜひお越しください。



阿倉川四・九の市

代表 丹羽俊博さん

所 近鉄阿倉川駅北西
日 4・9の付く日 時 7:30～11:00 ごろ

昭和35年に開設しました。青果、鮮魚などが揃い、新鮮な地元野菜が充実しています。その中でも特にトマトが好評です。定期市に定番のお好み焼き・たこ焼きや、高齢者にとって必要な日用品、履物を取り扱う店がそろいます。また、つくたてのお餅も販売しており、とても柔らかくお勧めです。



追分ショッピングセンター

代表 寺本鉄也さん

所 前田町19-7
日 5・0の付く日 時 7:30～10:30 ごろ

昭和30年に開設し、青果や鮮魚、生花などが並びます。特に地元野菜が充実しており、四季折々、旬の食材を提供できる店が多数あります。触れ合いを大切にしたい、いつも会話がはずむ市場です。ぜひお越しください、お待ちしております。



ふれあい四の市

代表 長谷川進さん

所 諏訪栄町アーケード内
日 4の付く日 時 9:00～13:00 ごろ

いつもご利用ありがとうございます。現在、後継者不足により、出店者が減少しています。出店者の数を増やして、市場の面白さを広め、諏訪地区を中心に盛り上げたいと思っています。こんな物売りたいと思っている人は、ぜひご連絡ください。また、お客さんもお待ちしていますので、ぜひお越しください。



市役所市場

代表 かずき 伊藤一樹さん
(三滝川慈善橋市場 代表兼務)

所 市役所北側
日 1・6・3・8の付く日 時 8:00～12:00 ごろ

昭和22年に開設しました。市役所に近くて便利な青空市場です。農家が作る新鮮な旬の野菜にはリピーターが絶えません。



塩浜市場

代表 井村俊昭さん

所 馳出町一丁目131
日 1・6・3・8の付く日 時 8:30～10:30 ごろ

昭和31年に開設し、昔懐かしい雰囲気のある市場です。青果や鮮魚だけでなく、手づくり総菜や地元食品もあります。みたらし団子を扱う店もあり、バラエティ豊かな店舗構成です。出店数が減少している中で、頑張っています。ぜひお越しください。



三滝川慈善橋市場

代表 かずき 伊藤一樹さん

所 八幡町16
日 2・7・5・0の付く日 時 7:00～10:30 ごろ

大正11年に開設し、市内で最も歴史があり、規模が大きい定期市です。地元農家の野菜などの青果も多く、品ぞろえが豊富で、新鮮なものを取りそろえています。笑顔で皆さんをお待ちしていますので、ぜひお越しください。



市場への出店者募集中

出店を検討している人は、各市場の担当者へおつなぎしますので、商業労政課へお気軽にお問い合わせください。
※ご希望に添えない場合もあります

Instagram「#市へ行こう」で検索▶



主な商品の例



住民票などの発行はコンビニで！

平日、市役所に行くことができない場合や、出先で急に各種証明書が必要になった場合でも、マイナンバーカードがあればコンビニエンスストアに設置されているキオスク端末で証明書を取得することができます。自宅や職場などの近くにあるコンビニエンスストアで利用できる便利でお得なコンビニ交付をぜひご活用ください。

ポイント① いつでも・どこでも

夜間や土・日曜日、祝日も全国の対象店舗で利用可能です。また、窓口で順番を待つ必要もありません。

ポイント② 簡単な操作

申請書の記入が不要で、画面に従ってタッチパネルを操作することで取得できます。

ポイント③ お得な手数料

市役所窓口、地区市民センターで発行するよりも手数料が安く済みます。

発行可能な証明書名	交付手数料 (コンビニ)	交付手数料 (窓口)
住民票の写し	150円	200円
印鑑登録証明書		
所得課税証明書		
戸籍の附票の写し	350円	450円
戸籍証明書(謄本・抄本)		

利用可能時間

6:30～23:00

年末年始(12月29日～1月3日)、メンテナンス日はご利用できません

利用可能店舗

セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、イオンなど



●操作が不安な人は市役所でサポートします

10月中旬から市民課(市役所1階) 証明書発行窓口前にキオスク端末を設置します。

マイナンバーカードを使ってコンビニ交付と同じ手順で各種証明書を発行できます。コンビニ交付をさらに多くの人に活用いただくために、職員がサポートしますので、操作が不安な人はぜひご活用ください。

対 本市に住民登録がある人

持 マイナンバーカード

詳しくは、市ホームページ
をご確認ください。



●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は 市民課 ☎ 354-8152 FAX 359-0282

四日市市・天津市友好都市提携45周年

四日市市と中華人民共和国の天津市は、1980(昭和55)年に友好都市提携を結び、10月28日に45周年を迎えます。これまで両市は、経済貿易、環境保護、教育、文化、スポーツ、医療などさまざまな分野で友好交流と協力を重ねてきました。近年では、特に青少年の交流に力を注いでいます。

青少年スポーツ交流派遣事業

テニス



市内の中学校に通うテニスの選手12人と指導者6人を天津市へ派遣しました。三つのクラブチームと親善試合を行うなど、スポーツを通して友好を深めました。

試合後は、天津市内のスポーツ施設や歴史的な建物の見学、四日市市・天津市友好都市ロゴマークのモチーフとなった天津之眼などを視察しました。

(派遣期間: 7月28日～8月1日)

卓球

市内の中学校に通う卓球の選手2人と指導者1人を天津市へ派遣しました。天津市内では、日中友好交流都市中学生卓球交歓大会と一緒に参加する選手のほか、天津市のトップレベルの選手と練習に励みました。

8月3日からは北京市へ移動し、同大会に臨みました。四日市・天津チームは一丸となり、準決勝までの全ての試合を接戦で制し、見事3位となりました。

(派遣期間: 7月30日～8月8日)



四日市市・天津市友好都市ロゴマーク

友好都市提携45周年の機運を高めるため、今後の友好都市交流のシンボルとして活用するロゴマークを公募しました。市内外から40作品の応募があり、本市出身の近藤美鈴さんの作品が最優秀作品に選ばれました。本ロゴマークは両市の友好(フレンドシップ)を船に見立て、笑顔のこにゅうどうくんが両市の温かな交流を象徴しています。



その他、市長・市議会議長をはじめとする公式代表团と、四日市商工会議所会頭を団長とする経済訪問団が、10月の提携日に合わせて天津市を訪問する予定です。これらの事業を通じて、今後さらに両市の友好を深めていきます。

●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は 秘書国際課 ☎ 354-8097 FAX 354-3974

四日市農芸高校 ダンス部



創部18年の四日市農芸高校ダンス部は、今夏の大四日市まつりで行われた「おどりフェスタ」で3年ぶりの優勝を果たしました。また、本市特産のかぶせ茶をPRする本市の動画にも、ダンスの創作と出演で協力するなど、活躍の場を広げています。

この夏から新キャプテンとなった2年生清水彩加さんに、ダンス部の活動やダンスの魅力、PR動画の振り付けへの思いなど、お話を伺いました。

幅広い年代に楽しんでもらえる振り付けを

かぶせ茶をアピールする動画「かぶせ茶パラダイス」の出演の依頼を受けた時、YouTubeやSNSで全国へ発信されるPR動画に参加できることをとても光栄に思い、同時に責任を感じました。

動画では、「Sole-cha-cha-cha-cha」といった軽快な節回しに合わせて、茶畑などでダンスを披露しました。振り付けを考案する際に心掛けたのは、幅広い年代に楽しんでもらえること

でした。難し過ぎず、誰もが踊れる振り付けだけれども、ダンス部らしくしようと部活動の合間を縫って部員全員で作りました。高校生ならではの力強さ、元気な笑顔に注目して見てもらえるとうれしいです。

かぶせ茶のおいしさにも触れて

普段、急須でいれたお茶を飲む機会はほとんどなかったのですが、撮影中に急須でいれたお茶をいただきました。甘味があって飲みやすく、かぶせ茶のおいしさを知ることができ、その感動を伝えたく、動画の中に急須でいれたお茶を飲む姿も盛り込んでもらいました。



かぶせ茶
パラダイス動画

ダンスは自分らしさを表現できる

私自身は小学1年生でチアダンスを始め、中学3年生から名古屋市ダンススタジオでトレーニングを重ねています。ダンスは、体一つで気持ちや思いを伝えることができ、自分らしさを表現できます。振り付けを考えたり表現方法を工夫したりすることで、創造力が磨かれるのも魅力です。

「農芸ダンス部魂」で一致団結を

ダンス部は、近年優勝を逃していた「おどりフェスタ」で優勝しました。今回、時代に合った衣装に刷新し、振り付けも見直し、「農芸ダンス部魂」を見せようと一致団結したのが良かったと思います。12月に開催される「三重県高等学校ダンスフェスティバル」での入賞も目指し練習に励みたいです。



インタビューに答える
清水さん



大四日市まつり「おどりフェスタ」での披露



森市長（前列中央）を囲んで

10月放送のCTY-FM「よっかいち わいわい人探訪！」でも紹介します。（放送時間は裏表紙へ）

毎月22日は「人権を確かめ合う日」です

人権のひろば

図 育ち支援課

(TEL) 354-8256 (FAX) 354-8475

「育ち支援課」が誕生しました

教育委員会内で組織の再編があり、小・中学校に対して、生徒指導や不登校に係る助言、特別支援教育の推進などを行う「育ち支援課」が、4月に誕生しました。

課名には、こども一人ひとりの「育ち」に寄り添った支援を大切にしたいという思いが込められています。

こどもを「育てる」という意識が強くなり過ぎると、「こうあるべき」、「こうさせたい」と、大人の理想を押し付けてしまいがちです。こどもが何かをする前に先回りして指示を出したり、失敗の機会すら与えなかったりする



関わり方は、こどもの自発性や考える力を育む妨げになります。

こどもは本来、自ら「育つ」力を持っています。大人の役割は、その力を信じて支えることです。守るべきときにはしっかり守り、見守るべきときには一歩引く。そういった関わり方が、こどもの健やかな成長を支えます。

育ち支援課は、こどもの心に寄り添い、安心して育つことができる環境づくりを大切にしていきます。こどもが持っている力を信じ、温かく見守っていきましょう。



総合体育館は相好アリーナ四日市へ

9月1日に、本市初のネーミングライツを活用した総合体育館の愛称使用開始記念式典を行いました。

ネーミングライツとは、施設を広告として活用するため、民間事業者に、有償で施設の愛称をつける権利を与える仕組みです。

募集の結果、契約相手は、相好(株)に決まり、9月以降、総合体育館と中央第2体育館の愛称を、それぞれ「相好アリーナ四日市」、「相好サブアリーナ四日市」としました。契約期間は10年で、本市は年間900万円の利用料を得ます。相好(株)は、市内で体操教室を開講す



るとともに、パリオリンピック出場の岡村真選手をはじめとした有望選手が所属する体操クラブチームを有しています。

愛称には、社名でもある「相好」(顔の表情の意)を添え、異なる個性を大切にし、スポーツに関わるすべての人を笑顔にできるような施設への願いを込めてもらいました。

相好アリーナ四日市では、これまでも多くの体操の大会が開催され、全国的にも認知されています。「体操の聖地 四日市市の体育館」というイメージが、今後さらに高まることを期待しています。

そらんぽへ行こう

固 博物館・プラネタリウム (TEL) 355-2700 (FAX) 355-2704

特別展「手塚治虫展」開催中！

17歳のデビューから60歳でこの世を去るまでの43年間、第一線の作家として活躍し続けた手塚治虫（1928－89年）。『マンガの神様』と称される手塚の生み出した多様な作品や魅力的なキャラクターたちは、現在も日本はもとより世界中の人々から愛され続けています。こどもから大人までを対象とした幅広いジャンルの作品には、手塚が生涯問い続けた人間や生命の尊さに関わる深いテーマやメッセージが込められています。

本展では、手塚の生涯と業績を、手塚が生み出したキャラクターや作品などから紹介し



「鉄腕アトム」 ©手塚プロダクション

ます。また、公害を経験した四日市市で、手塚が未来へ託したメッセージを読み解きます。

手塚が手掛けたマンガの原稿、映像・資料・愛用の品々など、貴重な資料をご覧くださいことができます。ぜひ、ご来場ください。

特別展 手塚治虫展

時 11月24日(休)まで
所 4階 特別展示室
料 一般 1,000円
高校・大学生 600円
中学生以下 無料

文化財さんぽ

固 文化課 (TEL) 354-8238 (FAX) 354-4873

足利将軍の家臣 矢田^{けん もつ}監物が^{のこ}遺したもの

戦国時代、12代将軍・足利義晴^{よしはる}（1511～1550年）に仕えていた矢田監物^{けん もつ}は、丹波国^{たんばのくに}（現在の京都府と兵庫県の一部）から小山田の地に移り住み、山田城を築きました。子孫は代々「監物」を名乗ったと伝えられることから、監物が誉れ高き人物としてこの地に根差していたことが推測されます。後に監物は主君義晴の菩提を弔うため、今は無き万松寺を建立したとされています。

天正18（1590）年、「小田原の陣」で監物は北条氏との戦いで戦死しましたが、家臣の子孫により墓碑^{あんじょうじ}が安性寺（山田町）に建て



矢田監物の墓碑と十一面観音菩薩立像（山田町）

られました。

この寺には、かつて万松寺の本尊であったといわれる「十一面観音菩薩立像^{じゅういちめんくわんのんぼざつりゅうざう}」が安置されています。また、監物の所有と考えられる「槍銘^{やりめい} 備州^{びしゅう} 長船法光^{おさふねのりみつ} 長享二年^{ちやうきやう}※八月日」も継承され、像と槍はともに市指定有形文化財に指定されています（※1488年）。

小山田の地には監物に縁あるものが伝わり、山田城跡には堀や土塁が現存しています。戦国の舞台に思いを馳せながら周辺を散策してみてもいいでしょう。



有料広告

※広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します

世界はデータでできている。データが繋がれば、可能性は無限に広がる。未来は予測するものじゃない。未来は創り出すものだ。私たちは、ここ四日市で磨き上げた世界最先端の半導体技術で可能性に挑戦し続け、イノベーションを起こし、限界を打ち破る。未知を味方に、未来を生み出す。

(→) これが新しいサンディスクです。

SANDISK™

© 2025 Sandisk Corporation or its affiliates. All rights reserved. 三重県四日市市山之一色町809番地 TEL.0466-96-4044



早く! きれいに! お得に!

お客様との
お約束

庭木1本より明瞭料金
トイレはお借りません
土日でもOKです
お茶はご遠慮します

庭木のプロフェッショナル
がお伺いします!

生垣の剪定 長さ1m 高さ2m
通常 **2,200円**を ※税込
初回限定 **1,100円**
先着10名様

広報よっかいち
をご覧ください

営業時間 9:00~17:00
0120-61-4128

ガーデンエクスプレス
カタクラ(東証スタンダード上場会社)グループ

四日市店
四日市市西浦1-1



3歳になったら鈴鹿サーキットパークへ!

3歳バースデー・デビューインビテーション
3歳のお誕生日から1か月間。

パークバスポートの料金
ご本人無料 + 同伴のご家族
4人まで半額

※事前申込が必要 ※レース開催日・特定日を除く ※翌月の同日まで。翌月に同日が存在しない場合は、その翌日(1日)まで
※料金は変動制のため、来場日の料金をご確認ください。

SUZUKA CIRCUIT PARK 三重県鈴鹿市稲生町 7992 TEL.059-378-1111

詳しくはこちら





建設職人なら誰でも入れる組合です

けん ろう

建労 四日市支部

随時加入者
募集中

三建国保

組合独自の
建設労働者の
健康保険

出産育児一時金 (50万円)
葬祭費 (本人 10万円・家族 7万円)
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助 (3万3千円)
脳ドックに対する補助 (2万円) など

建労四日市支部の
ホームページを開設しました

下記 URL
または QR
コードから
ご覧いただけ
ます。



<https://www.kenro-yokkaichi.jp/>

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ 5 丁目 1-8 ☎ (059) **354-1531** (代)



TRIMMING SALON **SERIどうぶつ病院** **PET HOTEL**

犬猫トリミングサロン&ペットホテル

熊本産馬油の無添加シャンプー・猫VIPルーム、専用ドッグラン有

トリミングサロン
初回限定
20%OFF
通常価格より

動物病院
併設で安心

**365日
営業**

SERIどうぶつ病院
三重県四日市市ときわ4-4-10
059-354-3541

トリミングサロン
ペットホテル

登録許可番号/第一種動物取扱業登録(保管)四管第22-1号



10月

市の情報発信

CITY INFORMATION



- 人口 305,210人
[8月末日現在(前年比-1,553)]
- 火災件数 14件
[8月分(前年比+5)]
- 交通事故件数 796件
(8月分)

テレビ・ラジオ

CTY (地デジ 12ch)

- 四日市市からのお知らせ
時 10月3日金、10月17日金、
11月7日金
12:30/18:20/20:30

- マンスリーよっかいち
時 第1・3回 8:54/14:54
- ALO! YOKKAICHI
時 土 19:54
- なるほど! 防災
時 月 17:30/土 8:30

CTY-FM (FM76.8MHz)

- よっかいち わいわい人探訪!
時 第2・4回 8:54/14:54
10月26日土は8:30/15:54
- 人権を確かめあう日
時 毎月22日(10月は、7:30/
11:54/13:54/16:30/
18:30)

※イベントなどで放送時間が変更になる場合があります

中央通りの車道を南側へ切り替えます！

市が進めている中央通り再編プロジェクトでは、近鉄四日市駅からJR四日市駅の区間で、直線デッキや中央通り公園、国が行うバスタ四日市の整備が始まります。

それに伴い、右図のとおり中央通りの車道を南へ集約し、道路の通行形態が大きく変わります。

通行方法やバス停の変更については、市ホームページをご覧ください。

ご迷惑をお掛けしますが、ご理解をお願いします。



車道切り替え作業：10月22日(水)夜～翌早朝 (予定)
バス停の変更：10月23日(木)始発～



※「ニワミチよっかいち」中央通り再編基本計画より掲載

編集後記

特集に関するこぼれ話



特集では、自分らしく生き生きと生活をしている認知症当事者たちの活動取材しました。写真は9月に文化会館で開催された認知症市民公開講座での一枚です。その中で認知症当事者の「マツケンサンバをみんなで披露したい」という思いを認知症フレンズを含めたメンバーで協力し、実現させました。参加者の明るい笑顔から、活動の楽しさが伝わってきます。

認知症になってもいろいろなことに挑戦できるということを発信し、認知症に関する理解を広め、誰もが暮らしやすい認知症フレンドリーなまちを目指していきます。(大和)

広報よっかいち10月上旬号 No.1678 (令和7年10月5日発行)

編集・発行／四日市市広報マーケティング課

〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号 ☎059-354-8104(総合案内) 印刷／水九印刷株式会社

UD FONT
by MORISAWA